

病院局

病院総務課

課長 牧垣 孝一

事務事業評価票

事務事業名	松本市立病院事業
-------	----------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	
予算中事業名	松本市立病院事業

部局名	病院局	課名	病院総務課	課CD	30140500
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	4	防災・SDGs
政策の方向(まちの姿)	2	いつでも医療が受けられるまち	主な取組み	○ 市立病院用地の再検討、早期の移転実現	
基本施策(個別目標)	121	地域医療の充実	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
西部地域を中心とした松本平全域の基幹病院の一つとして、地域医療、周産期医療等を担い、地域住民の医療需要に応えるとともに、将来にわたってその役割を果たすことができるよう、経営改革に取り組むもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
<p>昨年度に引き続き、救急医療、周産期医療、へき地医療支援の政策医療や、疾病予防から在宅医療など、地域に必要な医療を提供するとともに、経常収支比率の黒字化に向けた数値目標を設定し、改善に取り組んだ。</p> <p>しかし、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症により、受入病床数の増床や、外来、健診等の受入制限を行ったことにより、入院、外来患者数ともに減少した。</p> <p>【経営改善に向けた実績／目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医業収支比率: 79.4% / 92.9% ・ 一般病床利用率: 64.7% / 73.5% ・ 1日平均入院患者数: 136.9人 / 158人 ・ 救急患者受入件数: 938件 / 990件 ・ 手術件数: 440件 / 1,000件 <p>【具体的な取組み】</p> <p>ア 医師等の確保対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 信州大学医局との連携強化、医師派遣委託事業創設 <p>イ 収入増加・確保対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化を見据えた整形外科、泌尿器科医師の増員、手術適応患者受入れ促進 <p>ウ 経費削減・抑制対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 収益性や移転建替等を見据えた人員配置、ジェネリック医薬品切り替え促進 <p>エ 民間的経営手法の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営感覚に優れたプロパー職員の登用、経営企画課の設置 <p>オ 新型コロナウイルス対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発熱外来の設置、軽症者の車内診察、ドライブスルーによる遺伝子検査 ・ 受入病床数を最大37床まで増床、オンライン診察の実施、感染患者専用の医療機器の整備

＜現状に対する認識＞
<p>第11次基本計画での方向性 拡充・継続・縮小・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、新型コロナウイルス感染症の早期収束に向け、関係機関と協力しながら、円滑なワクチン接種の実施。 ・ 新病院建設に向け、患者数の増加、更なる職員の適正配置など、アフターコロナを見据えた経営戦略が必要。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	経常収支比率				
指標の設定理由	経営改革の進捗を示す指標のため				
目標値	96.2	96.6	99	101	100.8
実績値	94	95	98	101.7	105.7
達成度	98.1%	98.3%	99.3%	100.7%	104.9%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞										
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
① 事業費(千円)	2,316,483	2,432,847	2,447,471	2,709,474	2,682,529					
国・県										
利用者負担金	496,595	533,170	509,587	559,591	495,102					
診療報酬	1,474,119	1,499,074	1,476,239	1,621,099	818,124					
その他										
一般財源	345,769	400,603	461,645	528,784	1,369,303					
② 人件費(千円)	2,151,800	人工	2,180,840	人工	2,252,770	人工	2,218,600	人工	2,142,480	人工
正規	2,114,750	275	2,140,380	282	2,223,870	293	2,188,800	288	2,112,180	282
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	37,050	13	40,460	14	28,900	10	29,800	10	30,300	10
合計コスト①+②	4,468,283		4,613,687		4,700,241		4,928,074		4,825,009	
前年度比	—		103.3%		101.9%		104.8%		97.9%	

事務事業評価票

事務事業名	松本市立病院訪問看護事業
-------	--------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	
予算中事業名	訪問看護事業

部局名	病院局	課名	病院総務課	課CD	30140500
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞	
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	いつでも医療が受けられるまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	121	地域医療の充実	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
病気、障害等の理由により、医療機関への受診が困難な患者の自宅に訪問し、療養生活や介護生活を支えるもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

【事業概要】 在宅療養患者の住居を定期的に看護師が訪問し、かかりつけ医の指示の基、健康状態の把握や服用薬の整理、入浴介助等の看護サービスを提供。
【利用者の安全確保向上】 昼夜問わず緊急時にも相談や指示など要望に応えられる体制を執り、利用者の安全を確保する。
【地域連携による利用者の利便性向上】 患者の状態により、当院や他医療機関への受診や入院となる場合、それぞれの地域連携室等と手続をとり、患者・家族の利便性を高める。
【利用者の増加に向けた取組み】 訪問の対象地域を、本市の西部地域(島立、新村、和田、神林、今井、梓川、安曇、奈川、波田)と山形村、朝日村、安曇野市とし患者の確保に努める。
【活動指標】 令和2年度訪問延数 4,913件

＜現状に対する認識＞

第11次基本計画での方向性	拡充	継続	縮小	廃止
医療、介護、住まい、予防、生活支援が、身近な地域で包括的に提供できる地域包括ケアシステムの整備を行っていく上で、必要不可欠な事業。 松本西部地域では訪問看護サービスを提供できる事業所が少ないため、今後、ますます重要性が高まる可能性がある。				

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	訪問件数(延べ件数)				
指標の設定理由	事業の成果を端的に示す指標のため				
目標値	4,400	4,650	4,400	4,700	5,000
実績値	4,645	5,170	4,276	4,894	4,913
達成度	105.6%	111.2%	97.2%	104.1%	98.3%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
① 事業費(千円)	10,622	15,124	15,436	15,814	11,551					
国・県										
利用者負担金	4,776	5,149	4,391	5,144	5,802					
その他	5,846	9,975	11,045	10,670	5,749					
一般財源										
② 人件費(千円)	30,760	人工	30,360	人工	30,360	人工	30,400	人工	37,450	人工
正規	30,760	4	30,360	4	30,360	4	30,400	4	37,450	5
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計コスト①+②	41,382	45,484	45,796	46,214	49,001					
前年度比	—	109.9%	100.7%	100.9%	106.0%					

四賀の里クリニック

事務長 本木 昇

事務事業評価票

部局名	病院局	課名	松本市四賀の里クリニック	課CD	30150000
-----	-----	----	--------------	-----	----------

事務事業名	四賀の里クリニック事業
-------	-------------

<予算上の位置付け>

会計名	松本市病院事業
予算中事業名	診療所事業

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	2	いつでも医療が受けられるまち
基本施策(個別目標)	121	地域医療の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

松本市四賀地区の唯一の医療機関として、地域医療の観点から、一次救急医療、地域に必要な医療を提供するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

【四賀の里クリニック概要】

- 職員数 14人
- 診療科 内科、外科
 - ・内科のうち、専門外来として呼吸器、糖尿病、循環器
 - ・外来診療の他、特定検診・予防接種を行っている。
- 診療時間 平日8時30分～17時15分
- 在宅医療 往診や訪問診療はもとより、訪問看護及びオンコール当番により看護師、医師による看取り等を含む時間外対応を行っている。
- その他 四賀地区の地域性から独居老人が多いため介護事業者と連携したサポート体制に取組んでいる。
- 交通手段のない患者の輸送を行っている。
- 患者数
8,845人(H30) → 10,081人(R1) → 9,497人(R2) (△5.8%)

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充 **継続**・縮小・廃止
 平成30年4月から病院から無床診療所へ移行し、令和元年度からは常勤院長及び非常勤医師の2人体制で地域医療の充実を図っている。令和2年度は、新型コロナウイルスの影響もあり外来収益は減となったが、新型コロナウイルス対策に係る補助金増及び材料費減に取り組んだ結果、費用減となり黒字となった。引き続き医療提供体制の充実により外来収益の増加に取り組むとともに費用の削減に取り組むでいく。

総合評価

B

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	経常収支比率				
指標の設定理由					
目標値	100	100	100	100	100
実績値	98.4	108.7	101.2	97.1	101.5
達成度	98.4%	108.7%	101.2%	97.1%	101.5%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	274,918		239,066		168,602		176,290		174,473	
国・県										
利用者負担金	36,850		31,474		17,515		19,087		19,213	
その他	157,588		112,597		117,102		142,613		135,880	
一般財源	80,480		94,995		33,985		14,590		19,380	
② 人件費(千円)	142,720	人工	126,840	人工	61,250	人工	64,820	人工	58,660	人工
正規	99,970	13	83,490	11	38,450	5	38,000	5	37,450	5
会計年度任用 (フルタイム、パートタイム・2類)	42,750	15	43,350	15	22,800	8	26,820	9	21,210	7
合計コスト①+②	417,638		365,906		229,852		241,110		233,133	
前年度比	—		87.6%		62.8%		104.9%		96.7%	